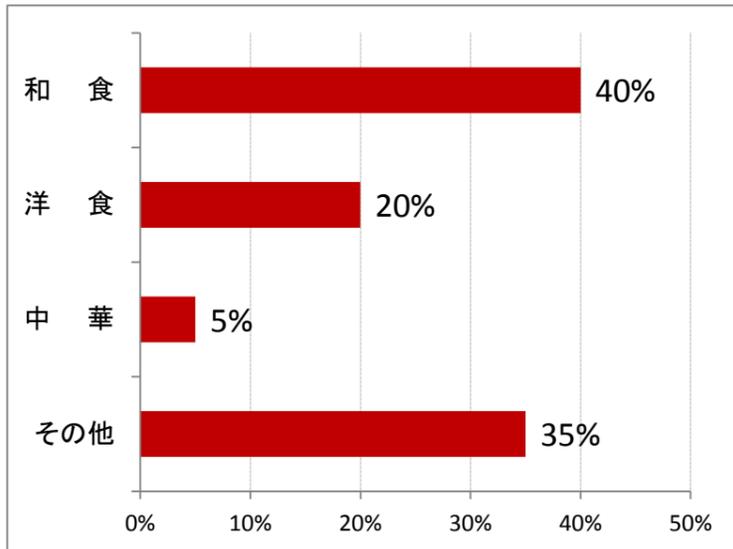


【平成30年1月実施 景況調査アンケート集計結果】

◆◆ 飲食業 ◆◆

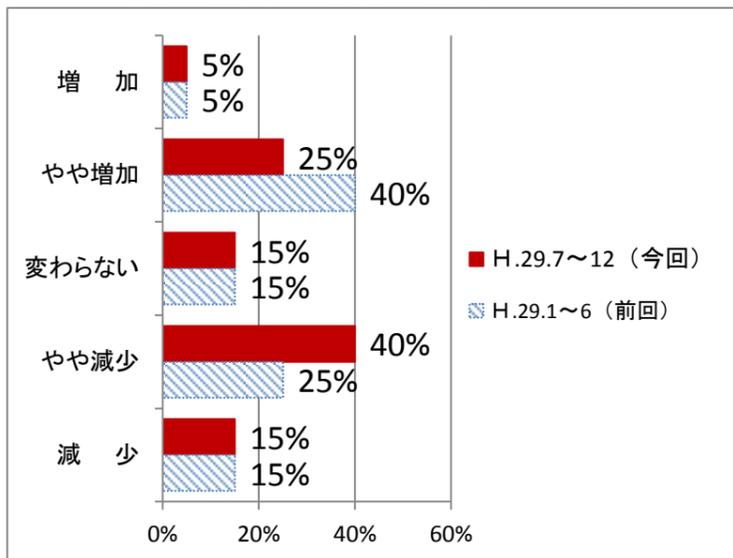
【分類別】



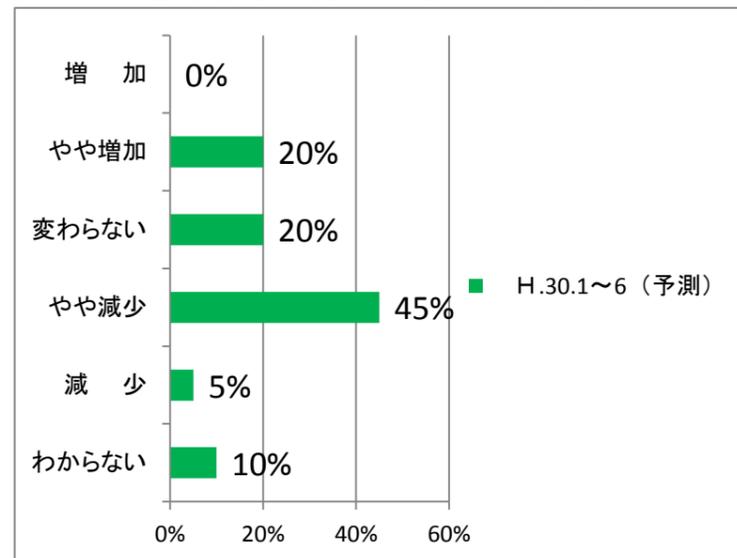
和食40%、洋食20%、中華5%、その他35%(喫茶店・スナック等)

【売上】

今回結果と前回結果の比較



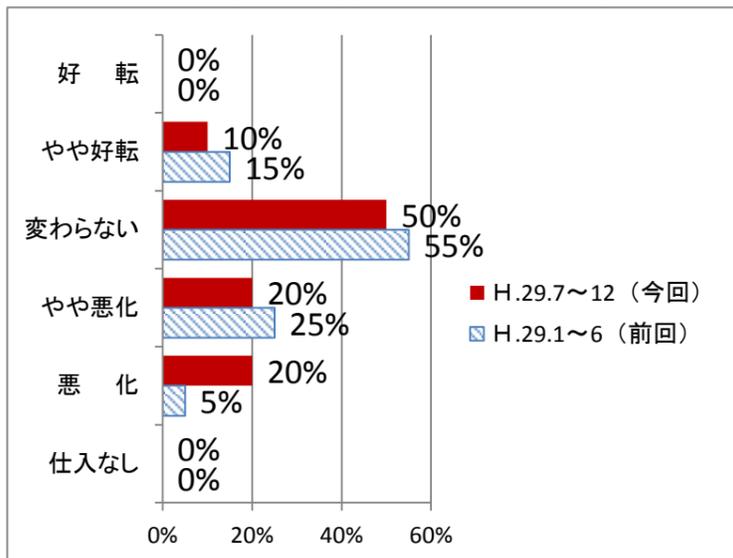
予測 (平成30年1~6月)



減少傾向の回答が55%を占め、前回よりも大きく悪化、厳しい状況になっている。

【仕入】

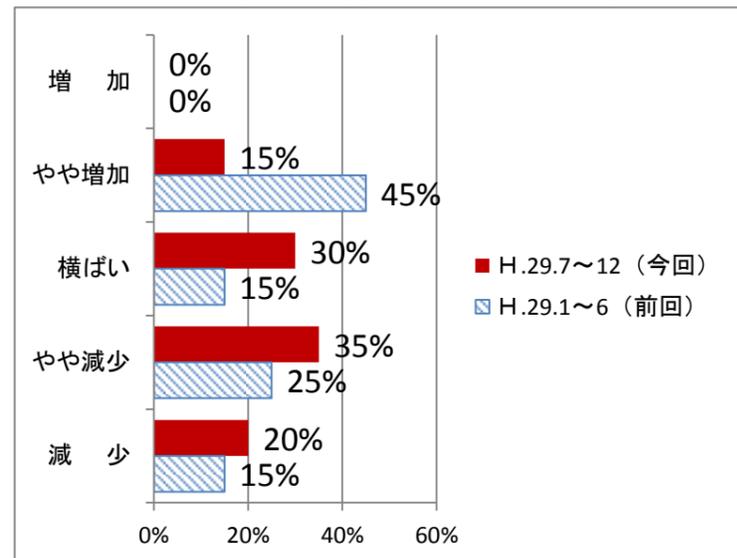
今回結果と前回結果の比較



50%は「変わらない」と回答しているが、「悪化」が20%と前回より大きく増加している。

【利益】

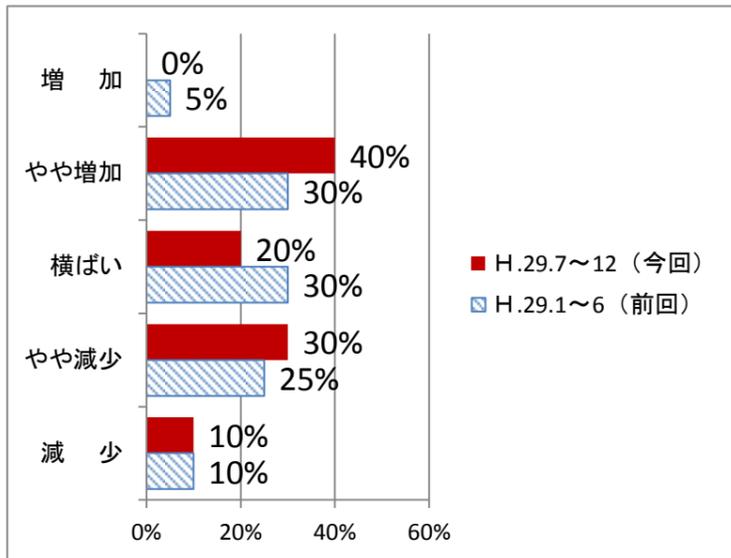
今回結果と前回結果の比較



減少傾向の回答が55%を占めており、前回より厳しい結果となっている。

【客数】

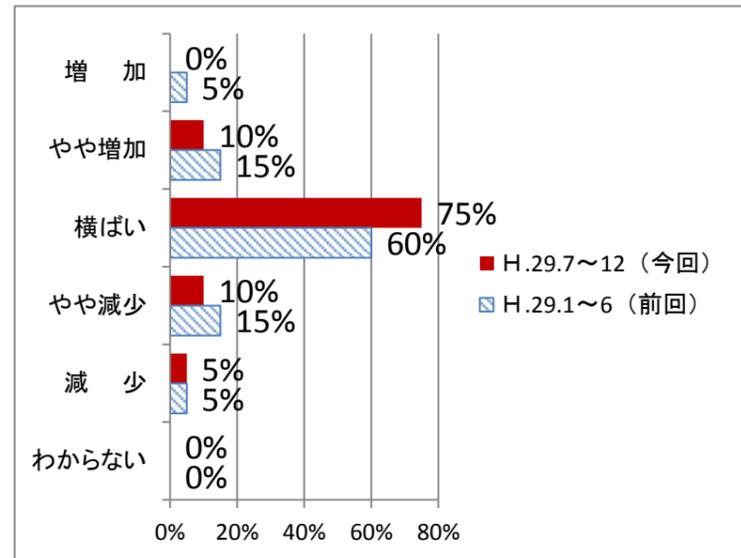
今回結果と前回結果の比較



「横ばい」から「やや増加」と「やや減少」に転じた回答があるものの、全体として大きな変化は見られない。

【客単価】

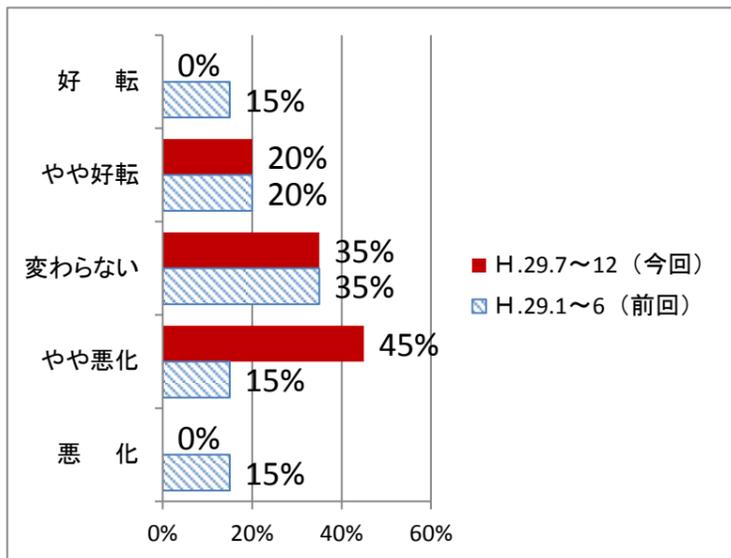
今回結果と前回結果の比較



75%が「横ばい」と回答しており、前回より増加傾向の回答が減少している。

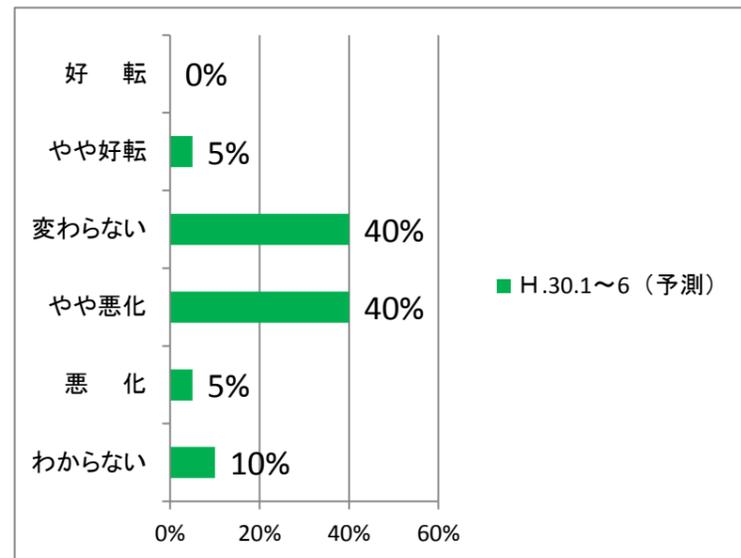
【資金繰り】

今回結果と前回結果の比較



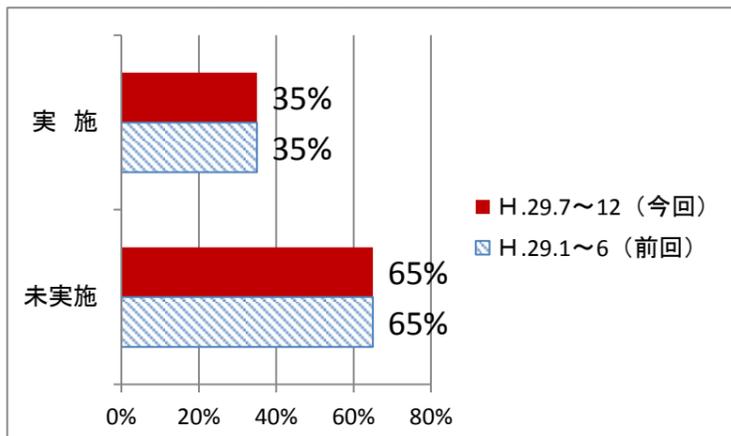
「やや悪化」が45%を占めており、前回は大きく上回っている。好転傾向の回答は合わせても20%しかなく、前回は下回っている。

予測(平成30年1~6月)

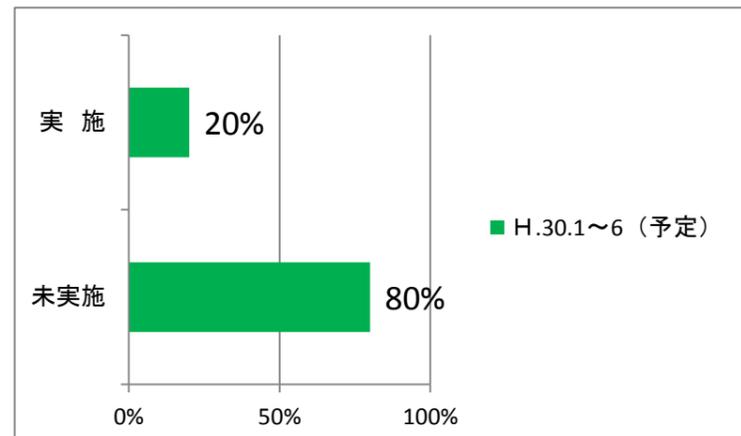


【設備投資】

今回結果と前回結果の比較



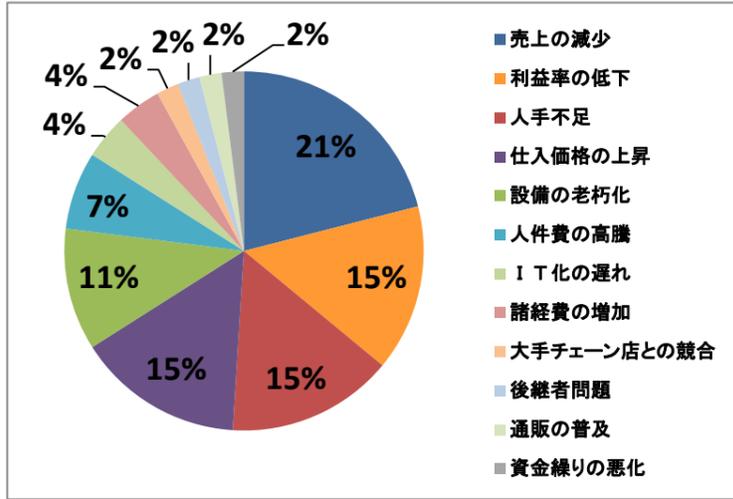
予定(平成30年1~6月)



設備投資については、前回と同値となっている。実施予定としては、今回よりも少ない見込みとなっている。

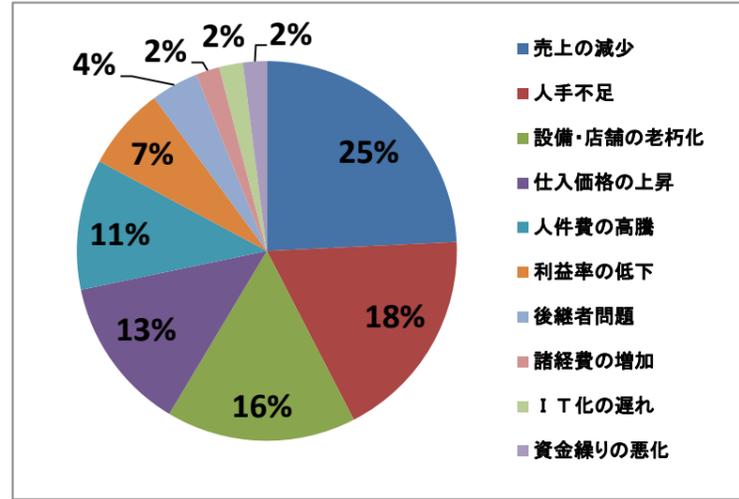
【 経営課題 】

今回(平成29年7~12月)



売上減少	利益率の低下	人手不足	仕入価格の上昇
21%	15%	15%	15%
設備の老朽化	人件費の高騰	IT化の遅れ	諸経費の増加
11%	7%	4%	4%
大手チェーン店との競合	後継者問題	通販の普及	資金繰りの悪化
2%	2%	2%	2%

前回(平成29年1~6月)



売上減少	人手不足	設備・店舗の老朽化	仕入価格の上昇
25%	18%	16%	13%
人件費の高騰	利益率の低下	後継者問題	諸経費の増加
11%	7%	4%	2%
IT化の遅れ	資金繰りの悪化		
2%	2%		

前回上位を占めていた「売上減少」「人手不足」「仕入価格の上昇」などは今回も課題として感じていることが多い。上記の【利益】の結果が悪化傾向となっているように「利益率の低下」との回答が増加している。また、前回より課題の種類も増加している。